

5 教員組織の状況

<文学研究科 複合文化専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	市川 浩史	平成25年4月	<small>複合文化研究専攻(2021-2022)専攻①-1</small> <small>複合文化研究専攻(2021-2022)専攻①-2</small> 思想と歴史研究 思想と歴史演習 1 思想と歴史演習 2 複合文化研究法 1 (研究指導)						
専	教授	井村 まなみ	平成25年4月	<small>複合文化研究専攻(2021-2022)専攻①-1</small> <small>複合文化研究専攻(2021-2022)専攻①-2</small> 表象とプロセス研究 表象とプロセス演習 1 表象とプロセス演習 2 複合文化研究法 1 (研究指導)						
専	教授	植村 恒一郎	平成25年4月	<small>複合文化研究専攻(2021-2022)専攻①-1</small> <small>複合文化研究専攻(2021-2022)専攻①-2</small> 思想と公共性研究 思想と公共性演習 1 思想と公共性演習 2 複合文化研究法 1 (研究指導)						
専	准教授	黒田 覚	平成25年4月	<small>複合文化研究専攻(2021-2022)専攻①-2</small> 思考と倫理研究 思考と倫理演習 1 思考と倫理演習 2 複合文化研究法 3 (研究指導)						
専	准教授	山崎 隆広	平成25年4月	<small>複合文化研究専攻(2021-2022)専攻①-2</small> 情報と人間研究 情報と人間演習 1 情報と人間演習 2 複合文化研究法 3 (研究指導)						
専	講師 准教授	國弘 暁子	平成25年4月	<small>複合文化研究専攻(2021-2022)専攻①-2</small> 基層文化論研究 基層文化論演習 1 基層文化論演習 2 複合文化研究法 2 (研究指導)						講師から准教授に昇進
専	講師	関村 オリエ	平成25年4月	<small>複合文化研究専攻(2021-2022)専攻①-1</small> <small>複合文化研究専攻(2021-2022)専攻①-2</small> 環境と人間研究 環境と人間演習 1 環境と人間演習 2 複合文化研究法 2 (研究指導)						

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
3	4	7	3	4	7	65	0
()	()	()	[]	[]	[]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。